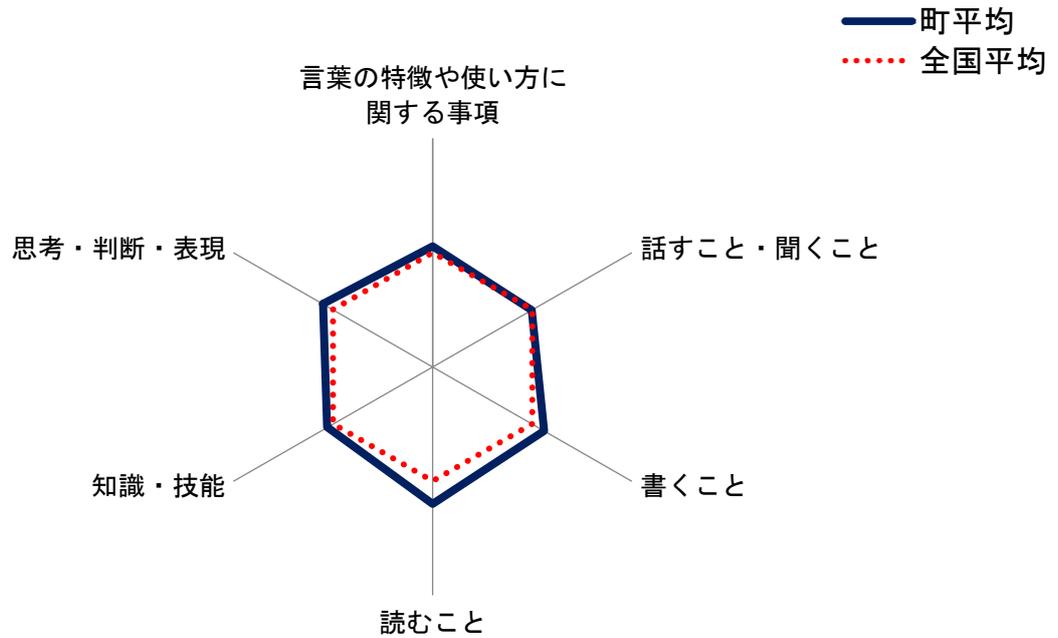
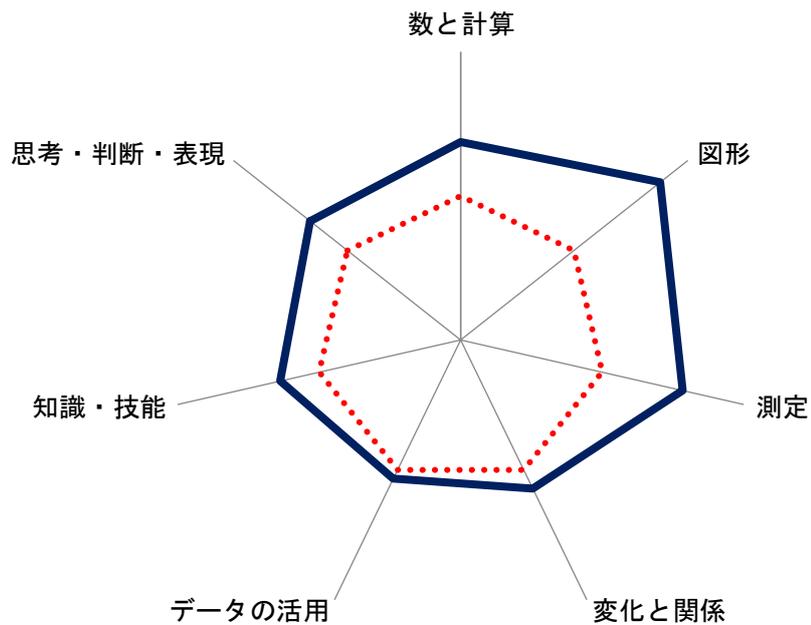


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

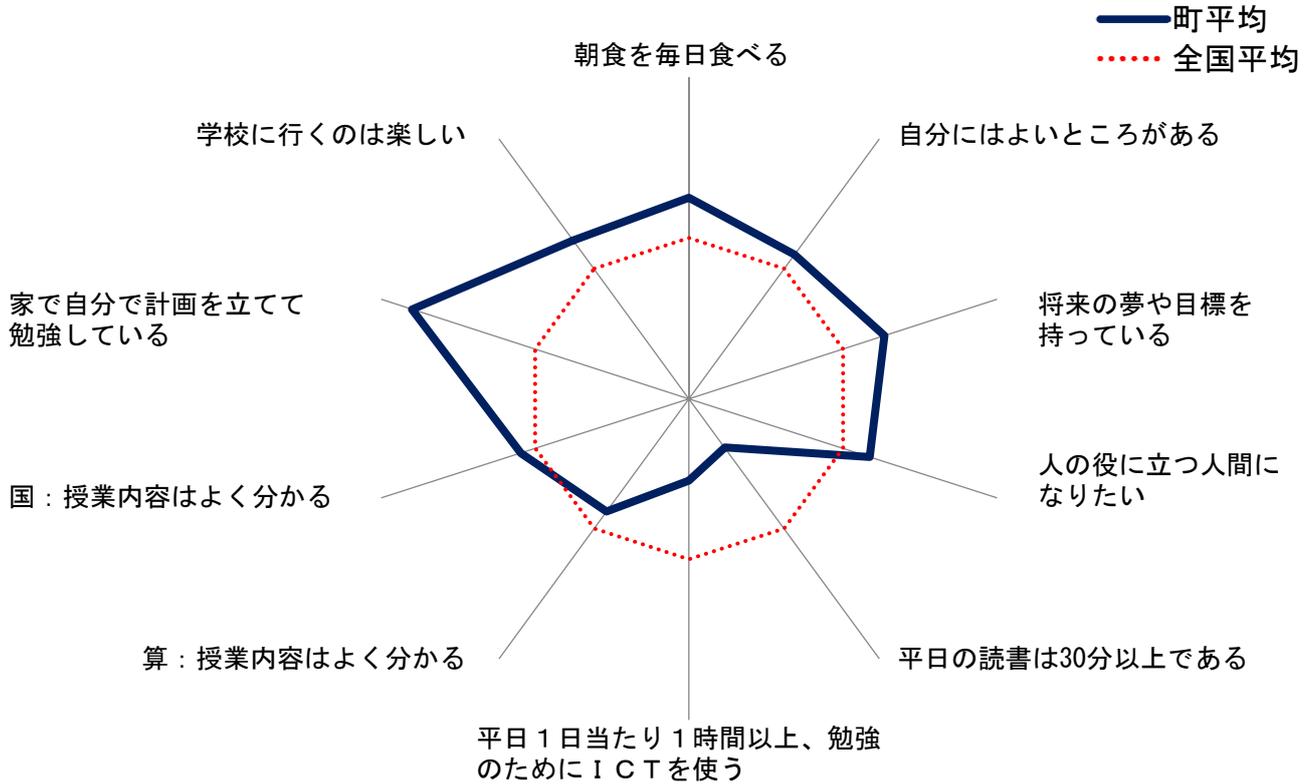
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数は全ての項目が全国平均を上回っている。特に「図形」「測定」などの項目は大きく上回っており、極めて良好な結果となっている。国語においても、ほとんどの項目が全国平均とほぼ同じか上回っている。今後も、更なる学力の定着と向上に向けて、児童一人一人の課題をしっかりと分析することにより、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組をより一層推進することが望まれる。

児童質問紙調査では、「家で自分で計画を立てて勉強している」の項目が全国平均を大きく上回っており、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る取組の成果が表れていると考えられる。一方、「平日の読書は30分以上である」の項目は、改善が見られた前回調査に比べて低下し、全国平均を大きく下回るなど、引き続き課題が見られる。今後も、読書活動のより一層の充実に向けた取組を重ね、読書に親しむ習慣づくりが望まれる。